

2016年3月期 第1四半期決算説明会

GMOクリックホールディングス

STOCK CODE : 7177

代表執行役社長 鬼頭 弘泰
執行役 財務・IR担当 山本 樹

2015年7月30日

1. 結論と要約
2. 2016年3月期1Q決算概要
3. 今後の展望と概況

業績

- ・ 営業収益は前年同期比**63.6%**増の**78.3**億円、順調なスタート
- ・ 販管費は前年同期比**28.6%**増の**42.7**億円、取引関係費等が増加
- ・ 営業利益は前年同期比**153.1%**増の**30.8**億円、大幅な増益

営業収益の内訳

- ・ 受入手数料
前年同期比**29.4%**増の**8.6**億円
株式市場全体の売買代金の増加などにより増収
- ・ トレーディング損益
前年同期比**73.2%**増の**59.5**億円
F Xの売買代金の増加などにより増収
- ・ 金融収益
前年同期比**61.6** %増の**10.1**億円
株式信用取引の建玉増加により増収

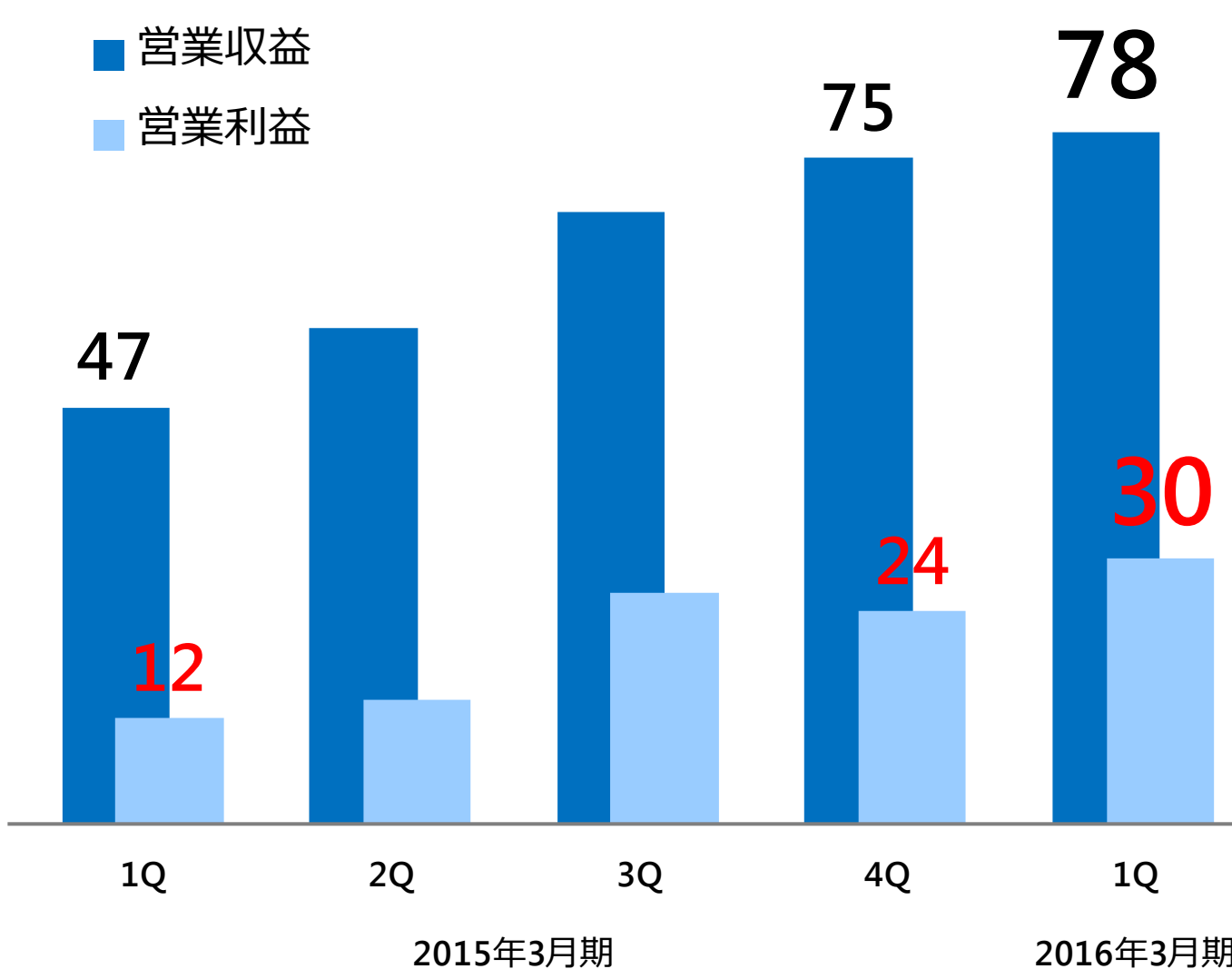
収益、各利益ともに四半期ベースで過去最高を更新。順調なスタート

(単位：億円)	2015年3月期 1Q (4-6月)	2016年3月期 1Q (4-6月)	前年同期比
営業収益	47.9	78.3	+ 63.6%
営業利益	12.9	30.8	+ 153.1%
経常利益	12.2	30.9	+ 152.7%
最終利益	9.3	18.2	+ 94.8%

※2016年3月期第1四半期の四半期連結財務諸表は監査法人のレビューを受けておりませんが、参考情報として実績値及び増減率を記載。以下同様。

(億円)

- 営業収益
- 営業利益

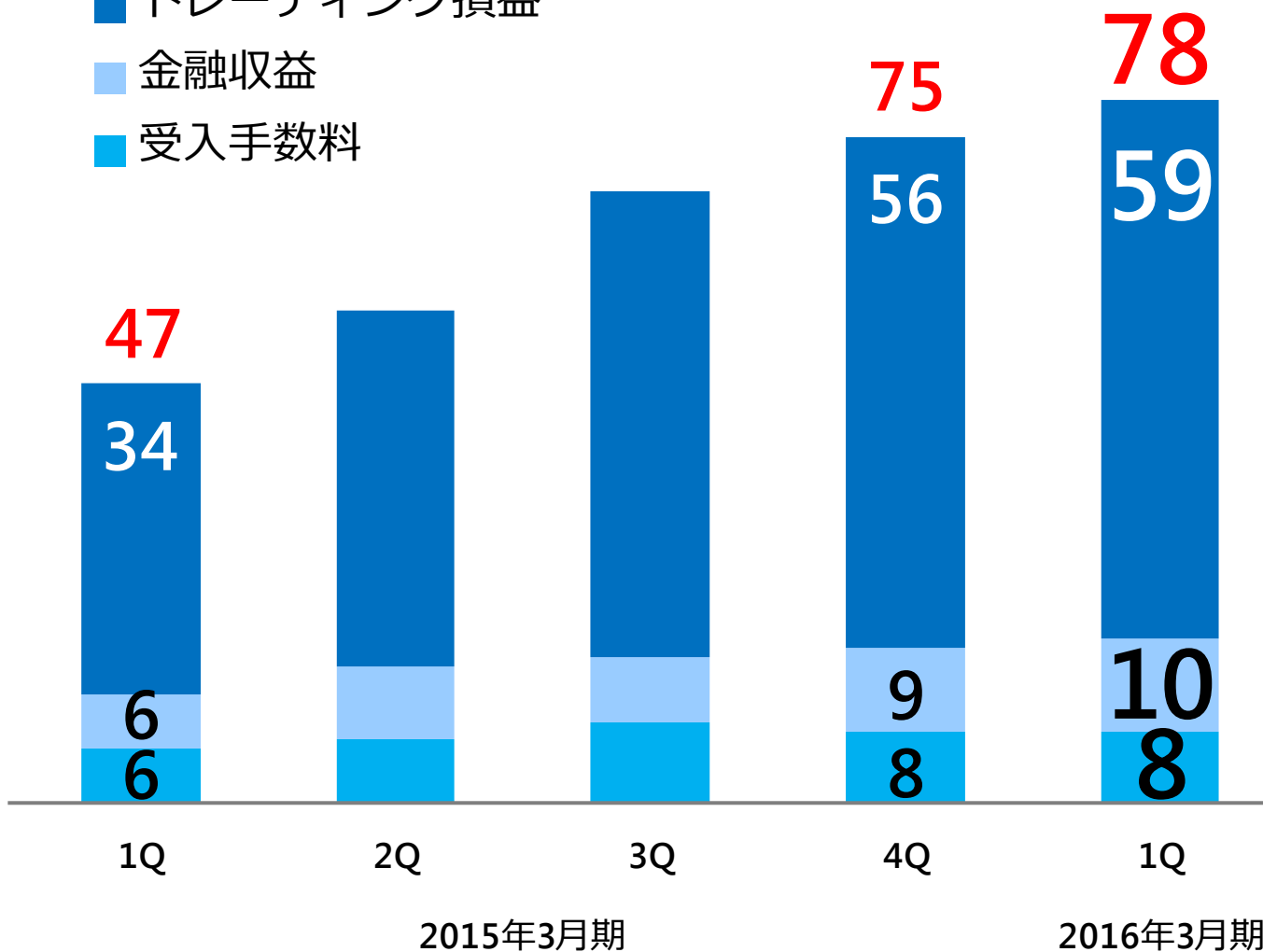


営業収益
営業利益ともに
順調に拡大

(億円)

- トレーディング損益
- 金融収益
- 受入手数料

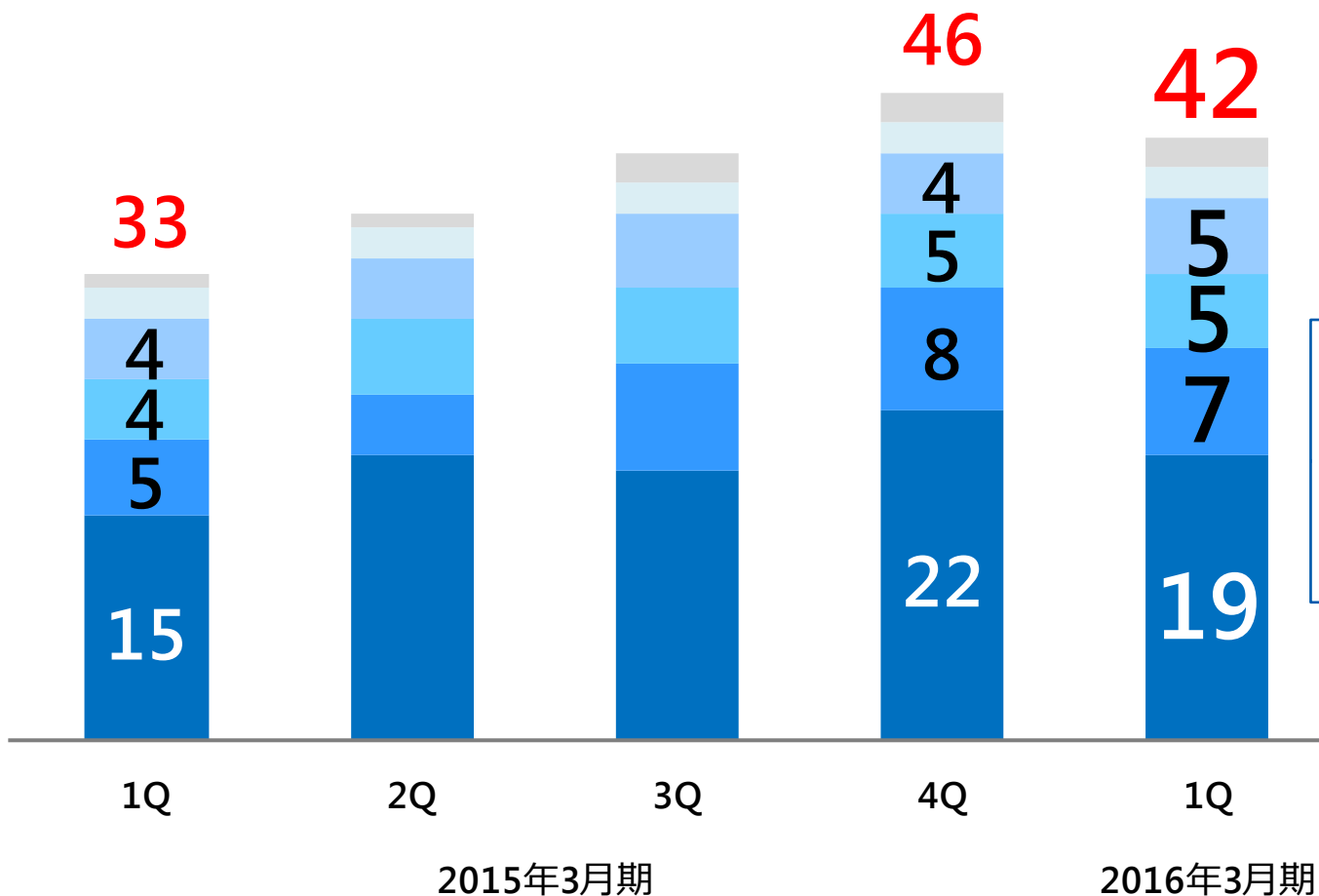
トレーディング
損益が好調



(億円)

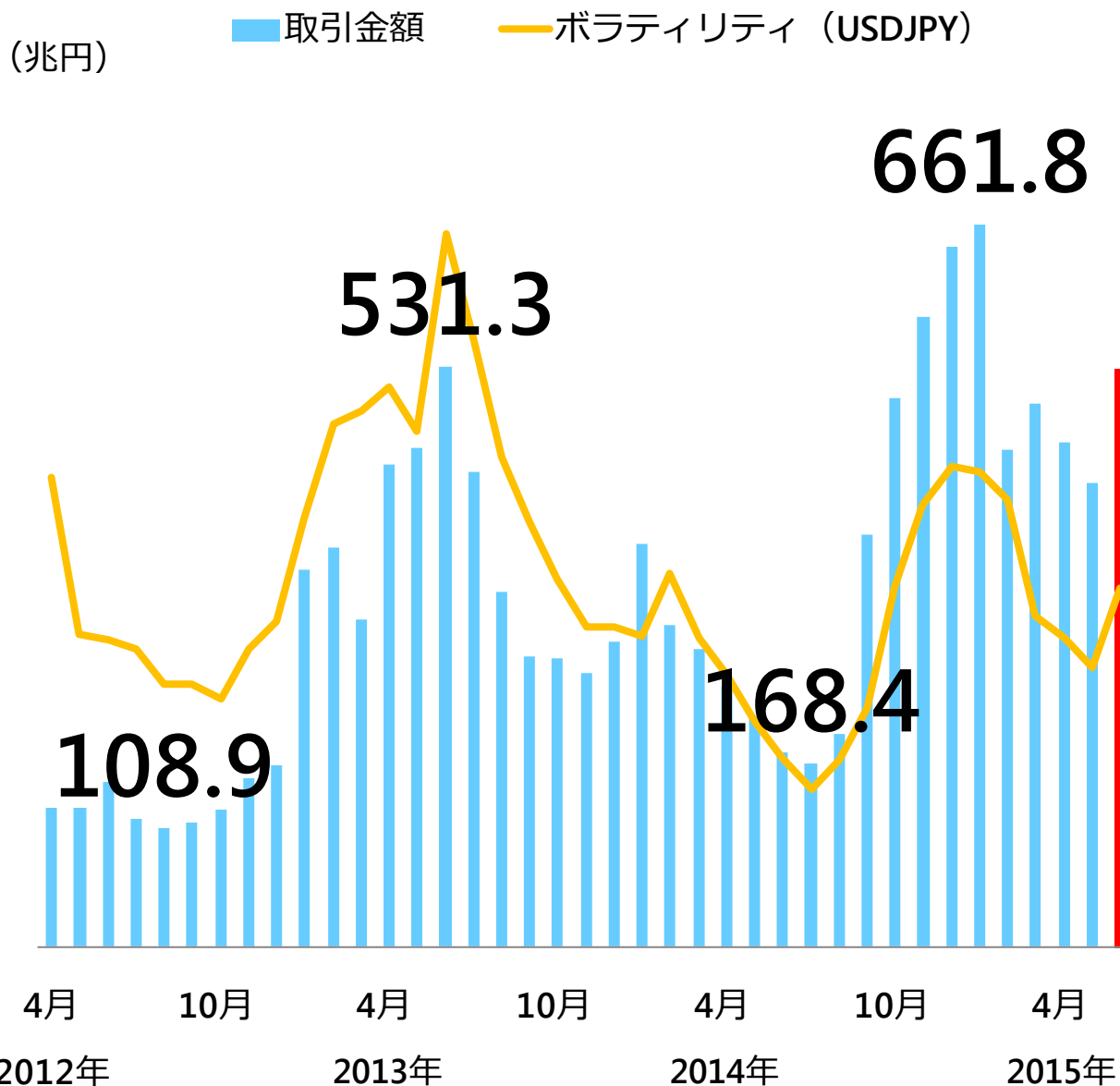
- 取引関係費
- 人件費
- 不動産関係費
- 事務費
- 減価償却費
- その他

前四半期比で
取引関係費減少



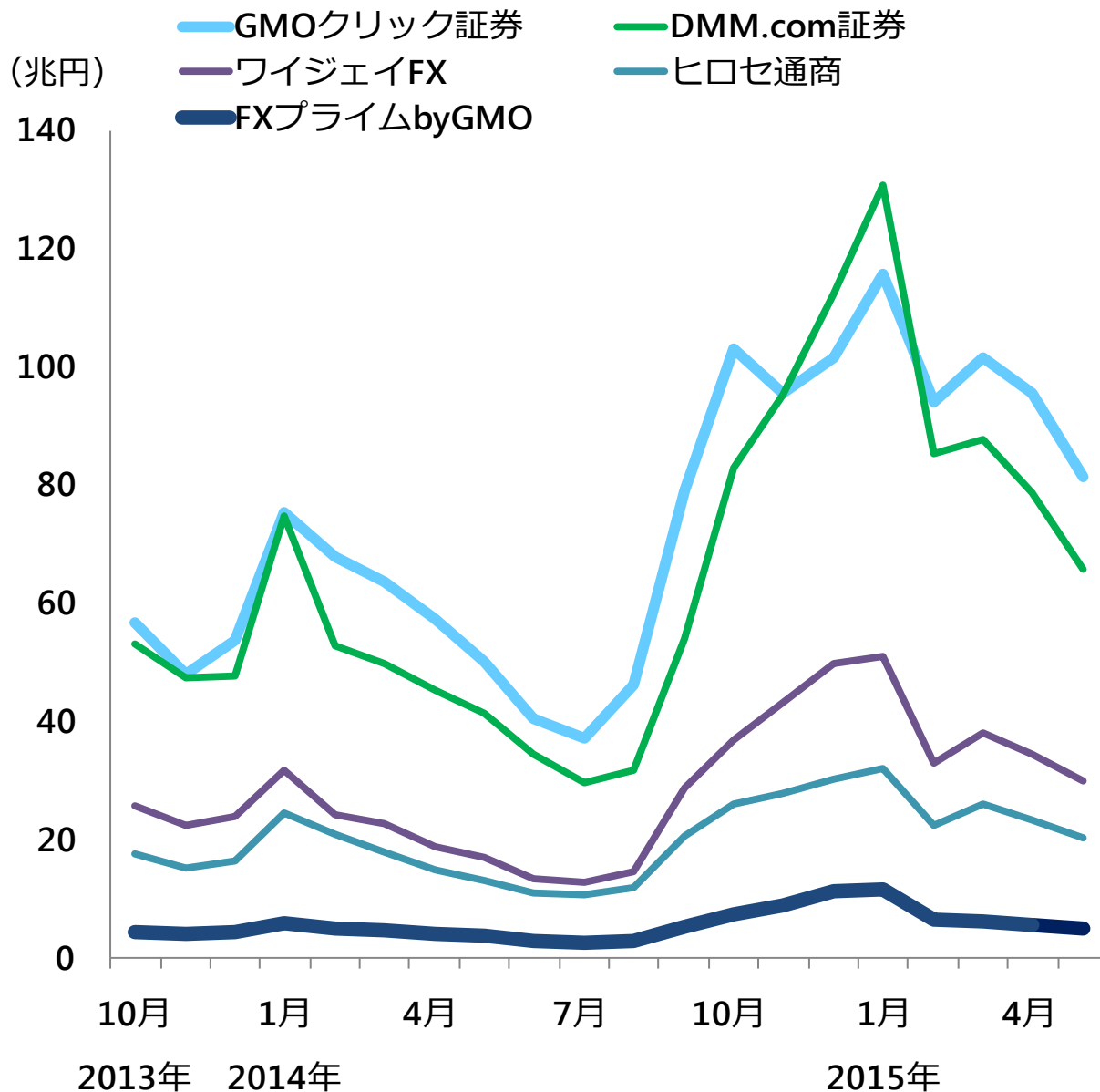
前四半期の大規模プロモーション実施等の影響で一時的に増加していた反動で取引関係費は減少。
販管費全体は、今後も今期1Qと同程度の水準の見込み。

1. 結論と要約
2. 2016年3月期1Q決算概要
3. 今後の展望と概況



ボラティリティ
上昇により
取引高も増加
引き続き高水準

出所：金融先物取引業協会、当社データより当社作成



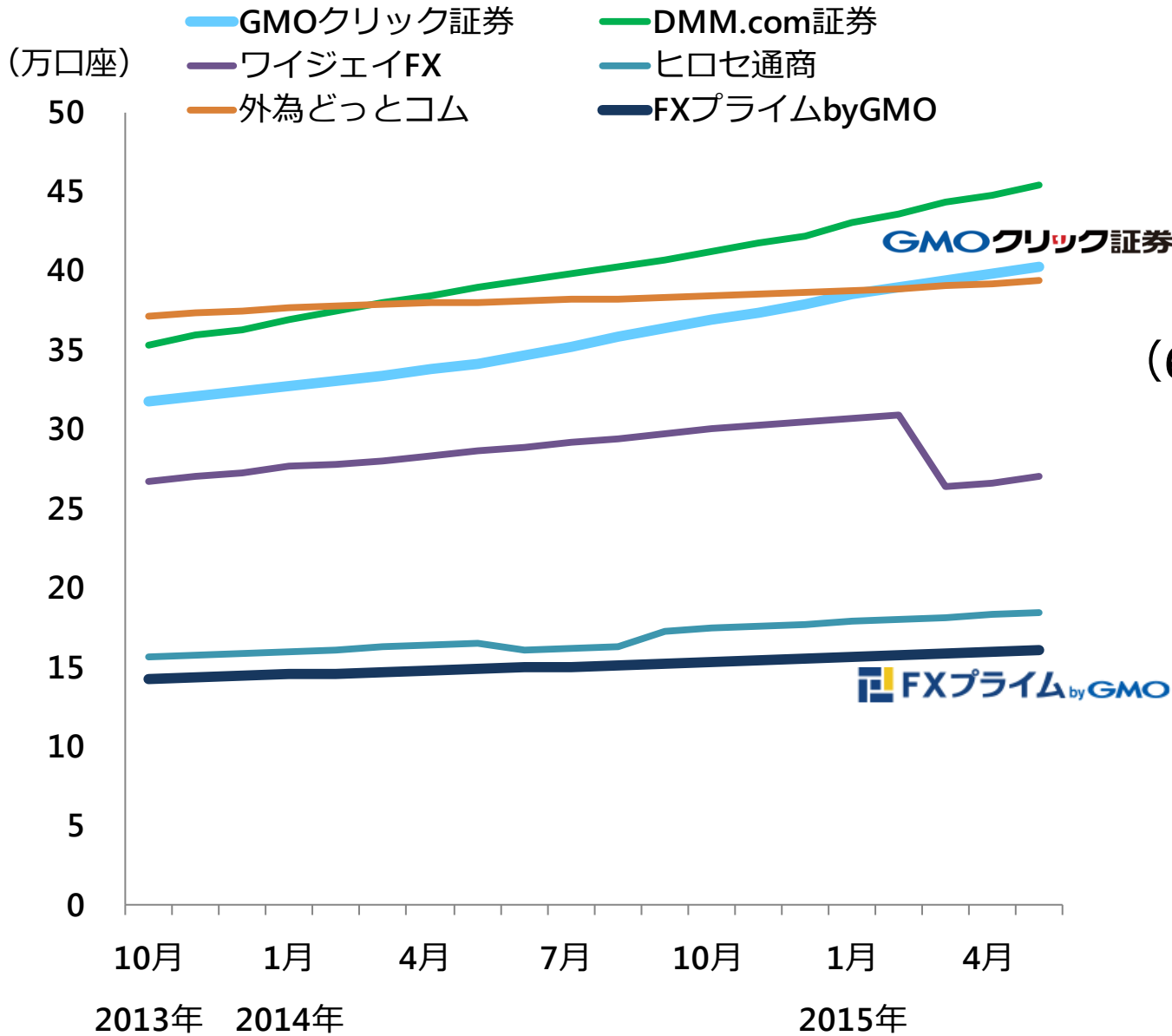
店頭FX取引高

国内第**1**位

GMOクリック証券

FXプライムbyGMO

出所：矢野経済研究所月次調査有力FX企業月間データランキングより当社作成

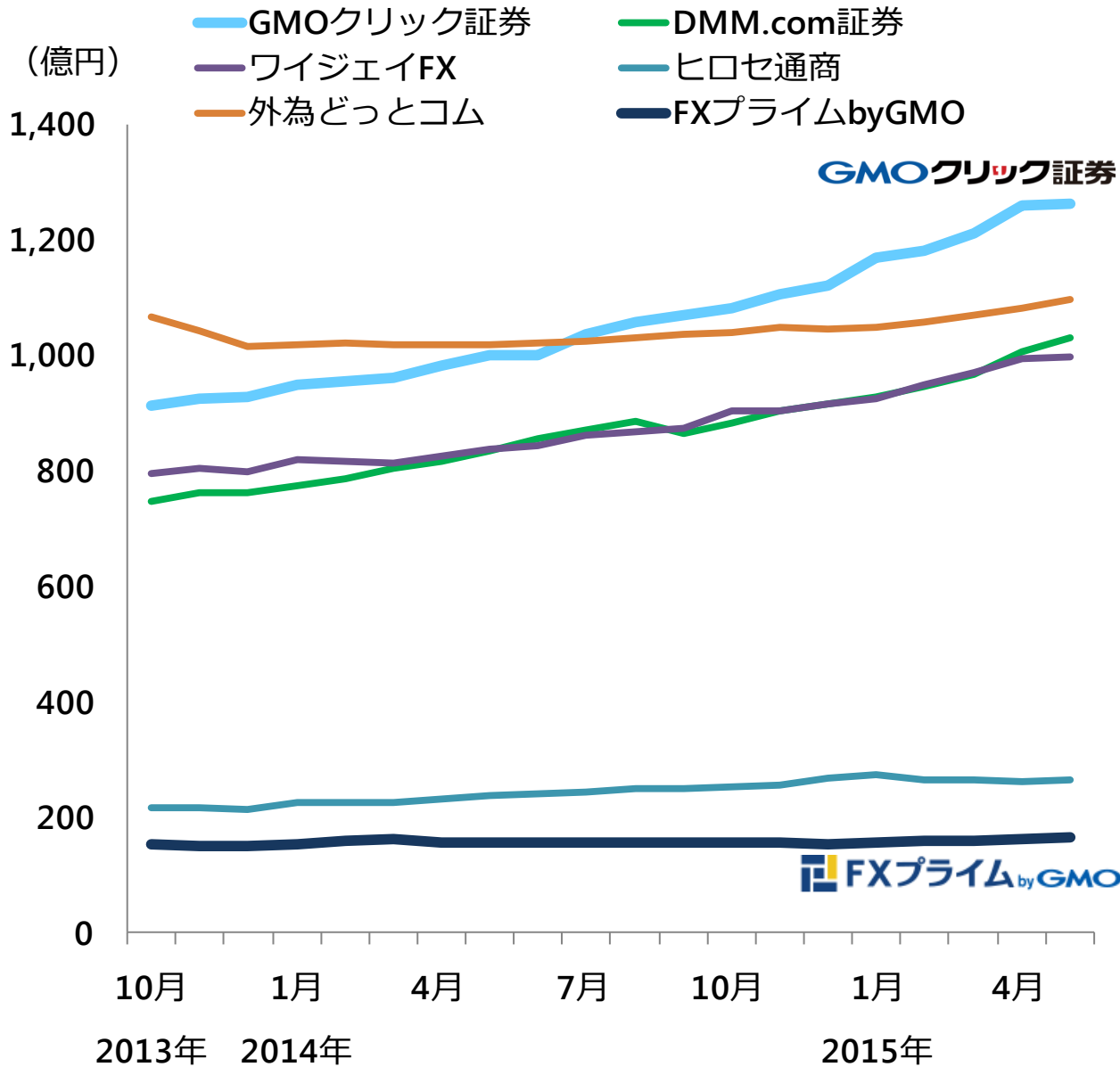


店頭FX口座数

56万口座

(6月末グループ合計)

出所：矢野経済研究所月次調査有力FX企業月間データランキングより当社作成



預り保証金残高は
2014年7月末以降

第1位

顧客基盤が順調に
拡大

出所：矢野経済研究所月次調査有力FX企業月間データランキングより当社作成

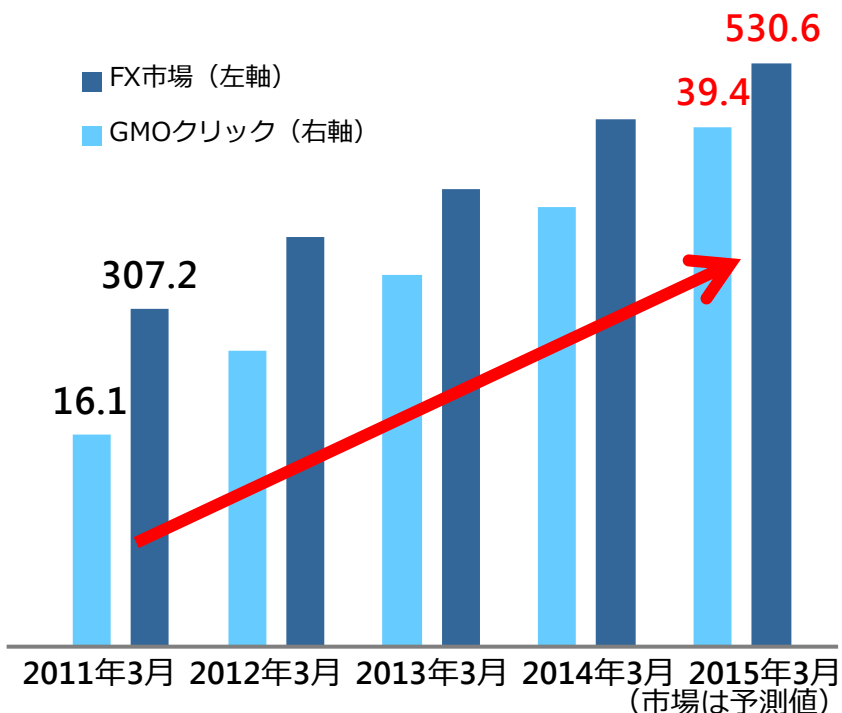
国内店頭FX市場は2桁成長を継続し拡大(5年で約2倍) 引き続き収益増加が期待できる

FX取引口座数

市場CAGR **14.6%**

GMOクリックCAGR **25.0%**

FX市場 (万口座) GMOクリック (万口座)

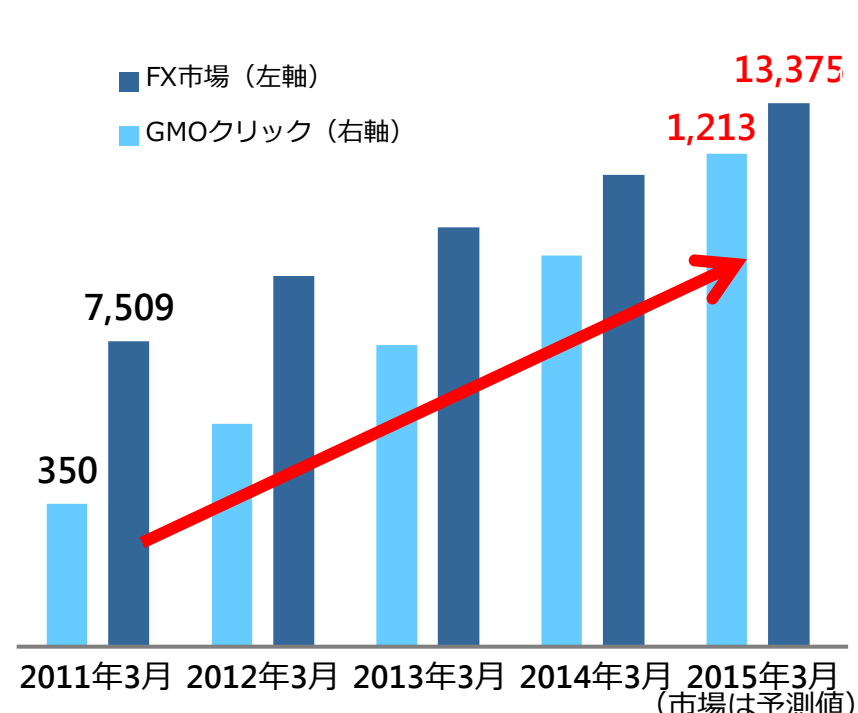


FX預り証拠金残高

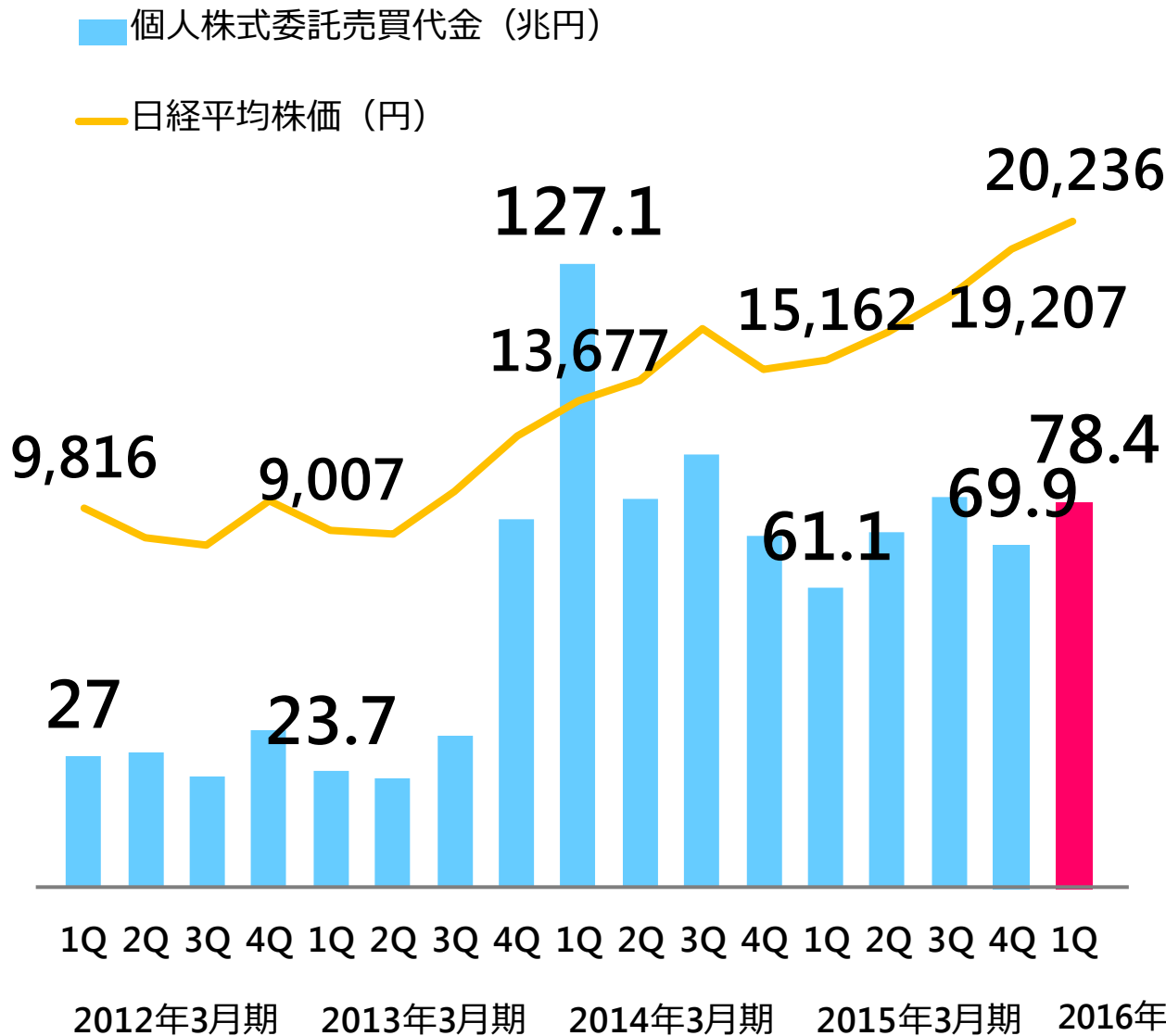
市場CAGR **15.5%**

GMOクリックCAGR **36.4%**

FX市場 (億円) GMOクリック (億円)

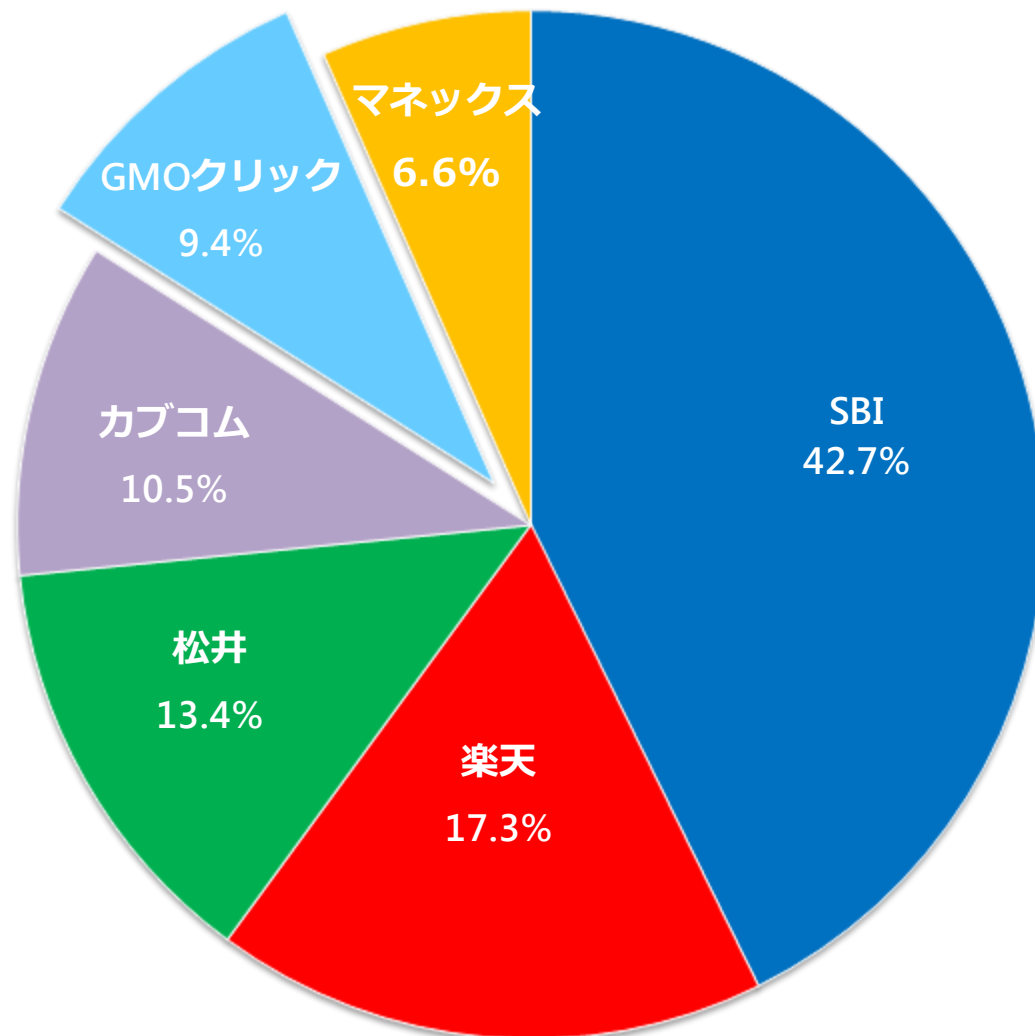


出所：矢野経済研究所「FX(外国為替証拠金取引)の動向調査結果2014」を元に当社作成
※CAGR：年平均成長率



株価上昇は継続
 売買代金は
 前年同期比28%増
 前四半期比12%増

出所：東京証券取引所公表資料より当社作成
 ※個人株式委託売買代金は二市場の合計値



株式売買代金は
前四半期比2.8%増

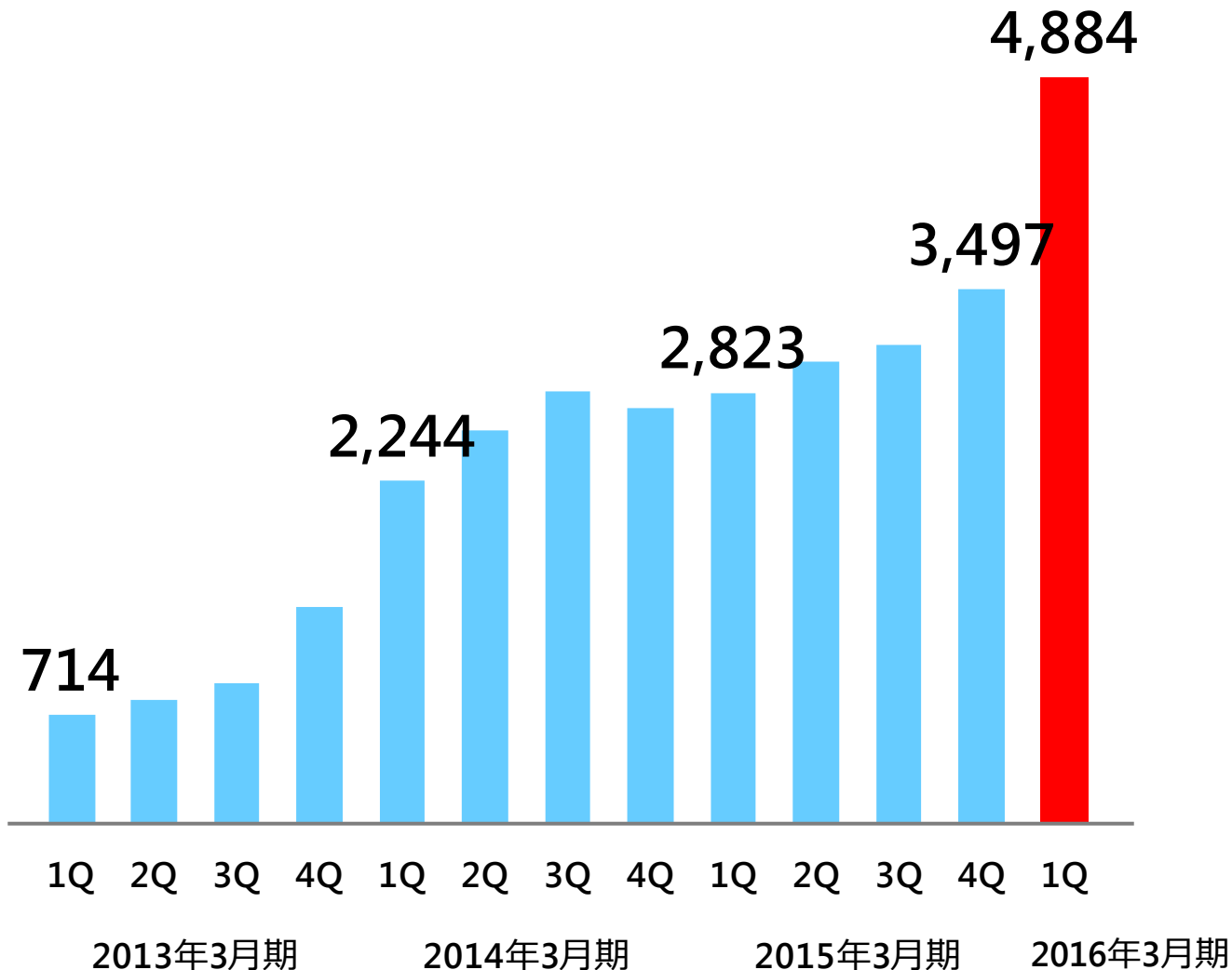
シェア**9.4%**

第5位

出所：各社公表資料より当社作成

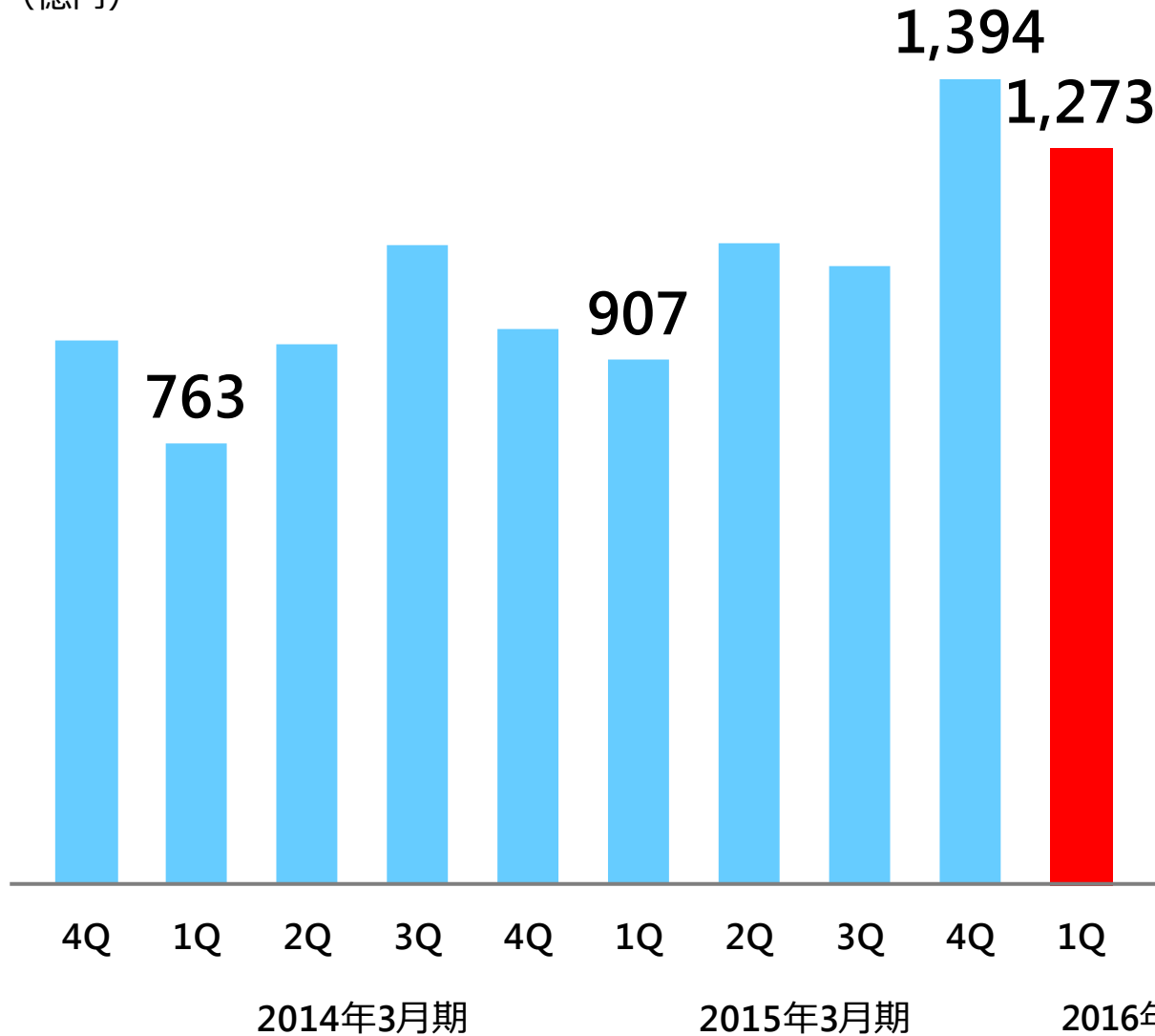
※主要ネット証券株式売買代金シェア：GMOクリック証券、SBI、楽天、松井、マネックス、カブコムの6社を全体とした場合の各社シェア

(億円)



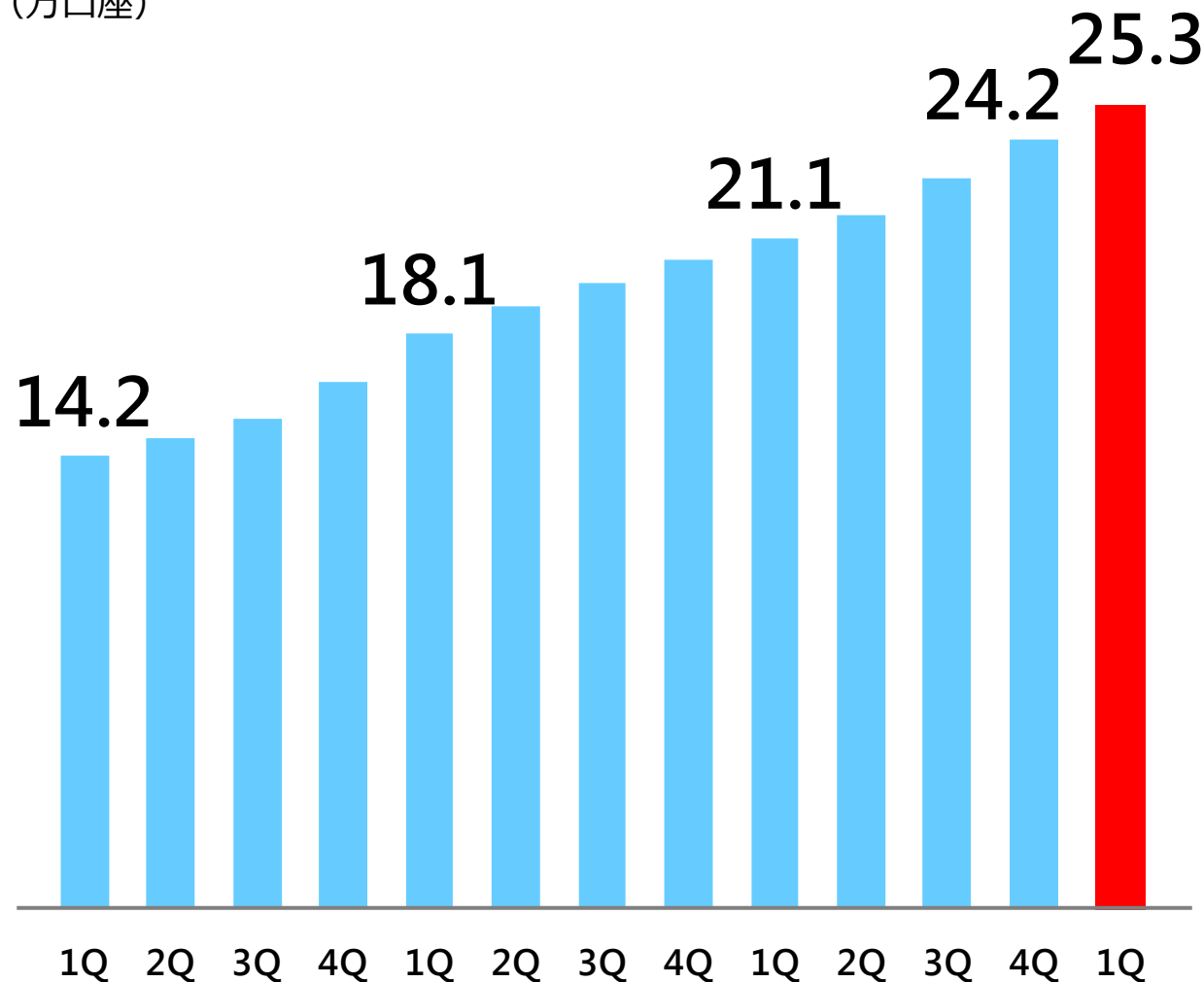
預り資産残高は
順調に増加

(億円)



信用取引残高は
前四半期比減少も
引き続き順調に拡大

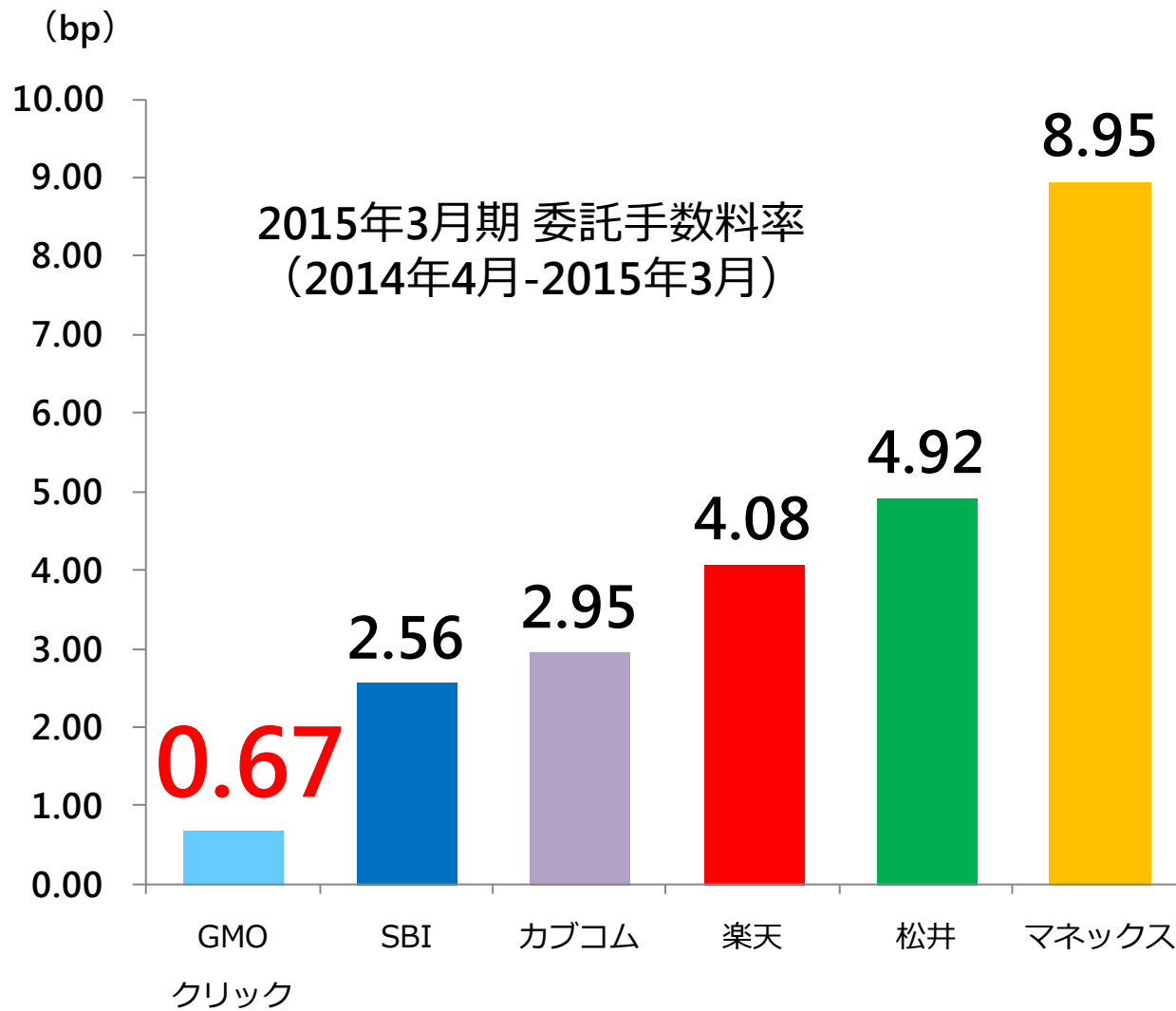
(万口座)



証券口座数は
前四半期末比
1.1万口座増

1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q

2013年3月期 2014年3月期 2015年3月期 2016年3月期



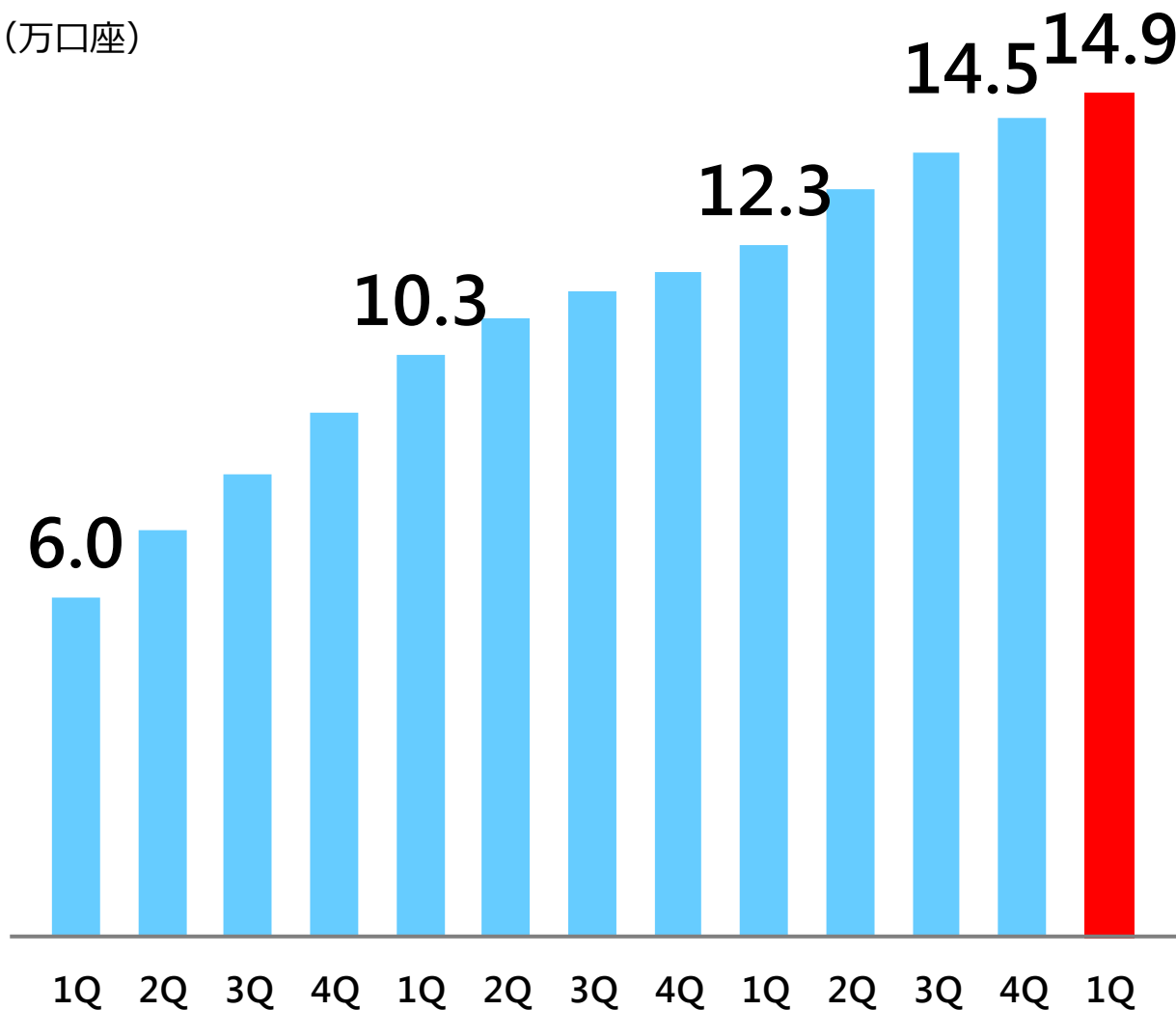
業界最安値水準で
サービスを提供

出所：各社公表資料の数値を使用して当社算出。

※委託手数料率（2014年4月-2015年3月）：株式委託手数料÷株式売買代金で算出。単位はベースポイント

※SBIはSBI公表数値を使用。楽天は委託手数料の数値より当社算出

(万口座)



外為OP口座数は
前四半期末比

0.4万口座増

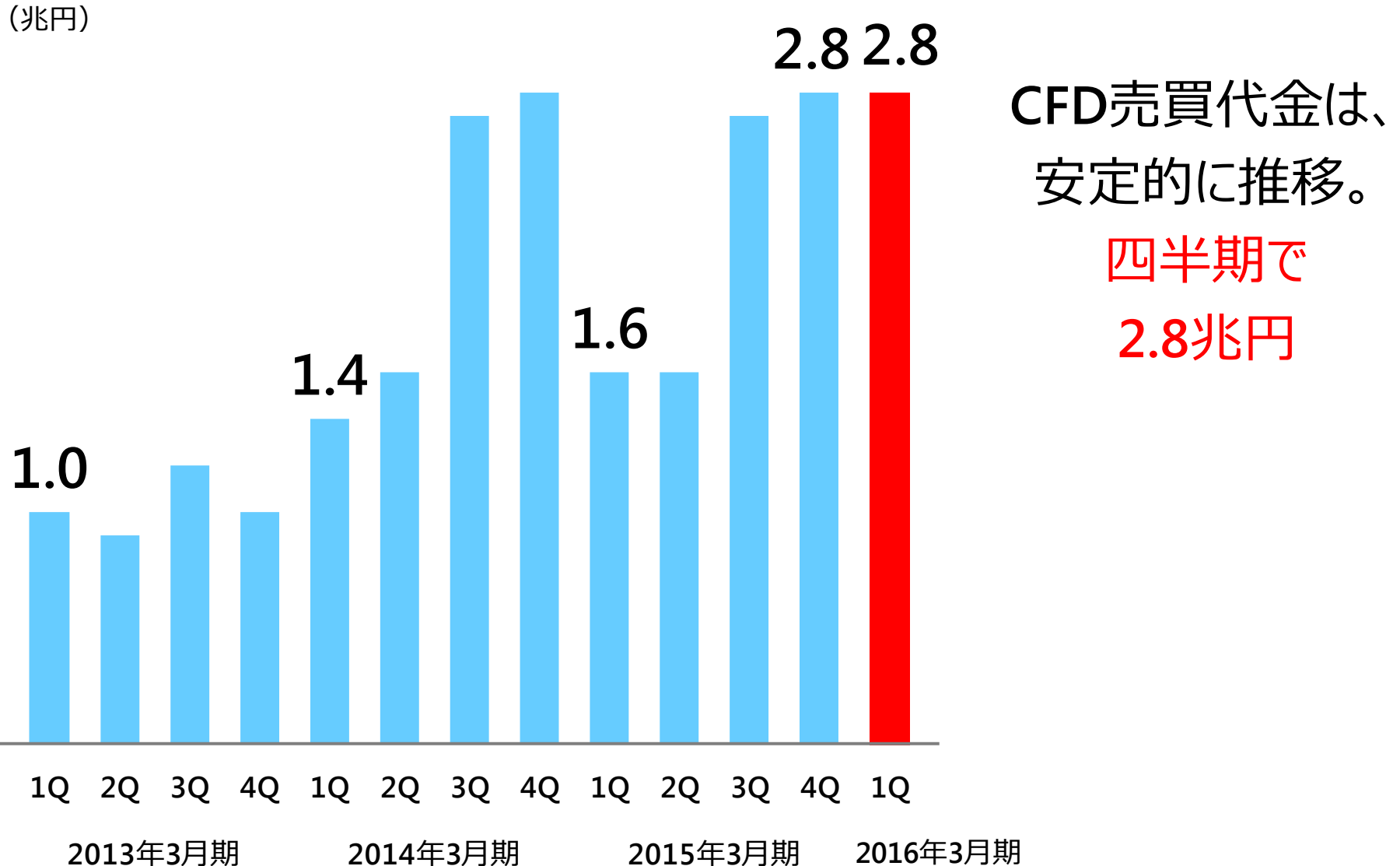
2013年3月期

2014年3月期

2015年3月期

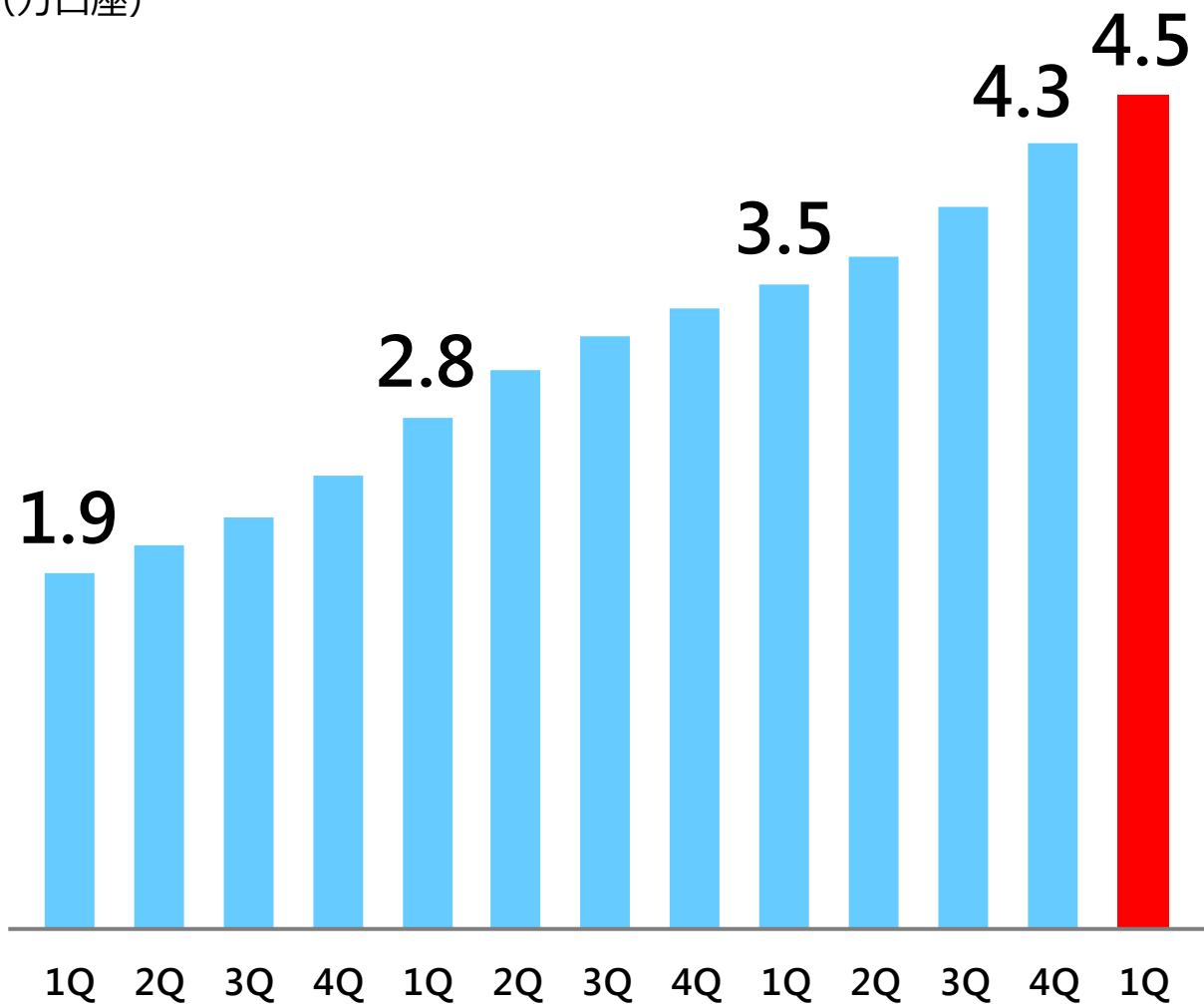
2016年3月期

※口座数はGMOクリック証券の取引口座数を参考値として記載



※売買代金はGMOクリック証券の数値を参考値として記載

(万口座)



2013年3月期

2014年3月期

2015年3月期

2016年3月期

CFD口座数は
前四半期末比

0.2万口座増

※口座数はGMOクリック証券の取引口座数を参考値として記載

1. 結論と要約
2. 2016年3月期1Q決算概要
3. 今後の展望と概況

国内の収益基盤を固め、既存事業、新規事業に投資

海外事業

黒字定着し
攻めの体制

国内事業

株式売買代金
第3位の達成

CFDを
新たな収益の柱に

新規事業

新たな金融商
品・事業の展開

事業基盤の強化

FX国内シェア拡大

競争力の強化

GMOクリック証券の新FXシステムは現在、世界最速処理を目指し、鋭意開発・テスト実施中。さらなるパフォーマンス向上を目指し、スケジュールを変更（2015年度中）

世界最速を目指した 新FXシステム！



※取引画面は現在開発中であり、上記画像はGMOクリック証券が現在提供するFXroidの取引画面の画像

CFDにおいて外国株CFDの銘柄追加やスマートフォンアプリをリリース。
アプリ利用率はリリース後3カ月で約3割に急増

指先ひとつで、どこでもCFD取引

iClickCFD



もっと身近に、もっと便利に。

CFDrroid

CFD
スマホアプリ
Debut!



※スマホ利用率は約定人数ベースの数値

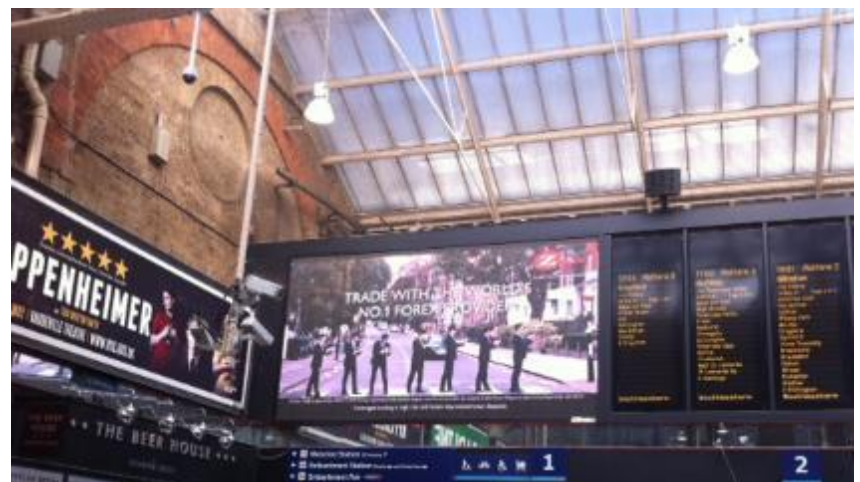
CMキャラクターに新垣結衣さんを起用しブランド強化を促進



GMOクリック証券は競泳日本代表チームのオフィシャルパートナー。
世界水泳開始に合わせて応援CMを放映中



英国事業を2015年3月にスタート。マーケティング開始（4月以降はテストマーケティング）



当社株式の流動性向上を目的として、6月24日に立会外分売を実施

分売実施前

分売実施後

親会社
議決権
保有割合

98.4%

93.9%

4.5%の改善

株主数

1,965名

9,785名

7,820名の増加

※分売実施前の記載数値は2015年4月1日時点
※分売実施後の記載数値は2015年6月30日時点

当社グループの事業理解促進、投資対象としての魅力を高めることを目的に、2015年6月末基準の株主優待を公表

1. GMOクリック証券における売買手数料相当額キャッシュバック（保有株数に応じ最大10,000円）

2. モウカレーうどん3個プレゼント

3. GMOクリック証券におけるGMOクリックホールディングス株式買付手数料相当額キャッシュバック

目標とする経営指標

自己資本当期純利益率（ROE） 20%

➡ 2015年3月期ROEは**25.4%**

株主還元方針

配当性向 40%

➡ 2016年3月期1Q配当性向は**40.1%**予定
(1株当たり配当金6.38円)

※2016年3月期第1四半期末の配当金は現時点の予想であり、2016年8月に開催予定の取締役会にて正式に決議予定

当社の親会社であるGMOインターネットが「ネット銀行設立」検討開始



次世代型のネット銀行を創る

出所：GMOインターネットIR資料

GMOクリックホールディングス

本資料には、2015年7月30日現在の将来に関する前提、見通し、計画等に基づく予測が含まれています。世界経済、競合状況、為替の変動等にかかわるリスクや天変地異などの不確定要因により実際の業績が記載の予測と大きく異なる可能性があります。またマーケットシェアなどの数値について一部弊社推計値が含まれております。調査機関によって異なる可能性があります。

また本資料に掲載されている情報は、情報の提供を目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。また本資料内に記載されている業績予想などの将来の予測に関するものは、リスクや不確定要因を含みます。実際の業績は経済情勢や市場環境など、さまざまな要因により、かかる予想とは大きく異なることがあることをご承知おきください。当該情報に基づいて被ったいかなる損害に関しても、その理由の如何に関わらず一切の責任を負うものではありません。